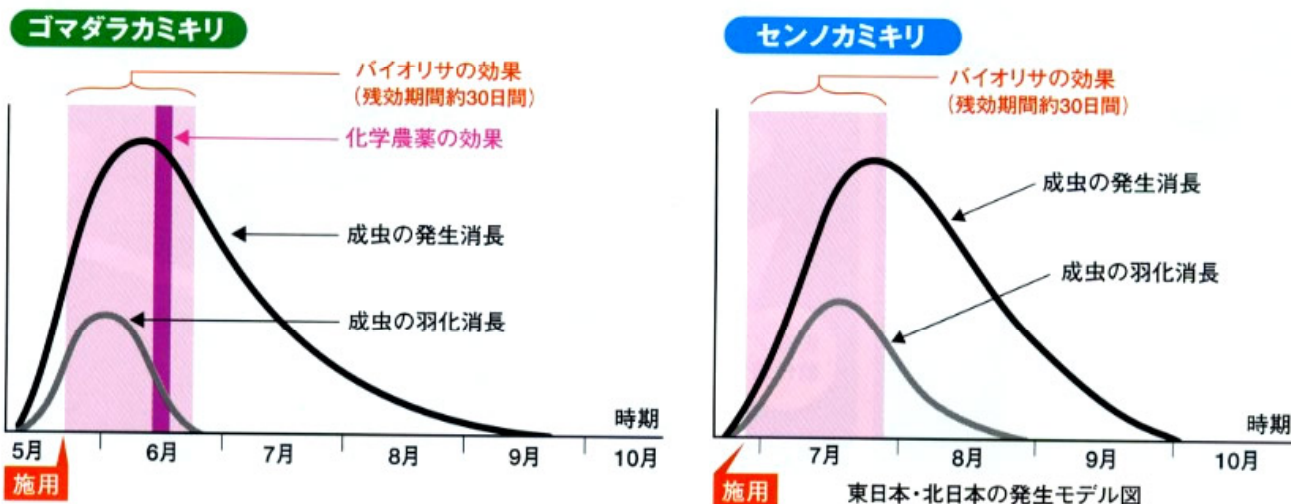


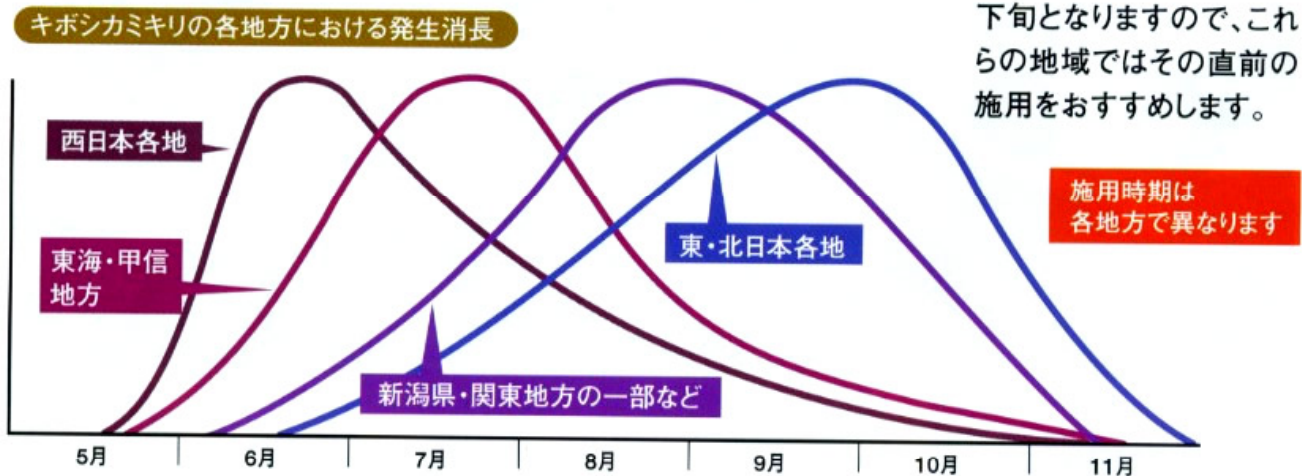
施用時期

成虫の発生初期に行うのが最も効果的です。具体的には、ゴマダラカミキリの場合5月下旬～6月中旬、センノカミキリの場合6月下旬～7月中旬を目安としてください。

成虫の発生時期は、地域やその年の気象条件などによって異なります。成虫の発生を確認したら、できるだけ早く（10日以内）使用するように心掛けてください。



なお、キボシカミキリは、西日本と東日本で発生消長が大きく異なります。発生最盛期は、西日本各地の6月中・下旬に対し、東日本各地では8月下旬～9月中・下旬、東海・甲信地方や西日本の一部では7月中・下旬となりますので、これらの地域ではその直前の施用をおすすめします。



【注】使用時期を決めるにあたっては、**本剤の残効期間がほぼ30日**であることを考慮し、この期間が圃場で成虫の羽化最盛期に重なるよう設定します。

